

“Champion of Change” Japan Award 2017

～女性ので誰もが安心して暮らせる豊かな社会を～

共催：フィッシュ・ファミリー財団
公益財団法人パブリックリソース財団
協賛：Tiffany & Co.
Dow Chemical Japan

2017年度
「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞
応募ガイドライン

| | |
|------|---|
| 賞の内容 | 大賞 1名 正賞（ティファニー社製カップ）と副賞100万円 ファイナリスト7名 ティファニー社製の記念品 |
| 応募締切 | 2017年9月30日（土） |
| 発表 | 表彰式：2017年12月初旬（予定）東京都内 |

「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞の候補者を募集します

本賞は、アメリカ在住の日本出身女性、厚子・東光・フィッシュの提案により創設されたものです。厚子・東光・フィッシュは、長年、日本の女性をアメリカに招いてリーダーシップを学んでもらう活動や、東日本大震災の被災地支援活動に尽力してきました。これらの活動が評価され、2013年にはオバマ大統領の発案で始まった“Champions of Change”賞をホワイトハウスから受賞する栄誉に浴しました。

異国の地での学びの中から自らの道を見出した経験と、日本女性の活躍を願う思いから、“Champions of Change”賞受賞の喜びと誇りを日本女性とシェアし、女性のロールモデルを示すことにも役立ちたいと考えたことから、本賞が創設されました。

日本においても、超高齢社会、大災害、子どもの貧困、地域社会の疲弊…様々な課題に直面した時に、勇気をもって自ら行動を起こし、地道に活動を続け、地域社会の課題解決や新たなシステムの構築に取り組んできた女性たちがいます。

本賞は、そんな女性の功績に、賞賛と感謝の意を表すために賞を贈ると同時に、その活動を広く知っていただくことで、受賞者の志、知恵やアイデアをより多くの女性と共有し、後につなぎ、より良い社会を築くための社会貢献活動の意義と喜びを広める事を目指しています。

表彰の対象者

日本国内で、地域社会における暮らしの質の向上や、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて、革新的な発想をもとに、活動を継続してこられた、NPOや社会的企業等の女性リーダーを対象とします。

※地域で地道な活動を続けている方に光をあて、もっと広くその活動を知っていただく賞です。
既に全国的にメジャーな賞を受けた方は、今回の推薦の対象外としてください。

※「継続して」とは、概ね5年以上を想定していますが、厳密なものではありません。

想定される活動領域

- ・超高齢社会における介護、看護、看取りなどのヒューマンサービス
- ・子どもや若者の成長を支える活動
- ・女性の直面する社会的課題の解決に取り組む活動
- ・障がいや病をもつ人、経済的に困難な環境にある人、外国にルーツをもつ人、子育てや介護などに事情を抱える人など、社会から疎外されがちな人を、孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、社会の構成員として包み支えあう活動
- ・地域社会のもつ様々な資源を掘り起こして活用し、地域に新たな経済循環や雇用を生み出す活動

※文化、国際協力・国際交流、環境保全、再生可能エネルギー推進の分野は、今回の対象から除きます。

4つの選考ポイント

選考に当たっては、外部に選考委員会を設置して厳正な審査を行います。

<選考基準>

- 1 生活の中から問題を見出し、社会化・事業化する洞察力
- 2 現状を打破するイノベティブな発想力
- 3 自ら動く実行力、継続する計画性
- 4 変化を創り出し、社会に影響を与えた実績

募集方法

全国から他薦により応募者を募集します。

下記WEBサイトより応募用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上、Eメール、ファックス、郵送にてご応募ください。

応募用紙：<http://www.public.or.jp/champion/dl.html>

3件までご推薦いただけます。

応募期限

2017年9月30日（土）までに、応募用紙で事務局必着

お問合せ先、送付先

公益財団法人 パブリックリソース財団

〒104-0043 東京都中央区湊2-16-25-202

電話：03-5540-6256

ファックス：03-5540-1030

Eメール：champion@public.or.jp

応募用紙受理後、内容確認のため、担当者よりご連絡させて頂く場合があります。

応募用紙をダウンロードできない場合には、事務局までご請求ください。

選考の参考となる資料があれば添付、もしくは郵送ください。

ご提出いただいた書類及び資料は返却いたしませんので、ご了承ください。

受賞者の発表

表彰式：2017年12月初旬（予定）東京都内

受賞者、ファイナリストの会場までの交通費及び必要な宿泊費は事務局が負担します。

受賞者（1名）には、正賞（ティファニー社製カップ）及び副賞100万円を贈呈します。

ファイナリスト7名には、ティファニー社製の記念品（ミニチュアカップ）を贈呈します。

- ・表彰式終了後、受賞者及び選考委員によるトークセッションを行います。
- ・受賞者の活動を広く知っていただくために、活動内容をWEBサイトで紹介します。

フィッシュ・ファミリー財団

<http://jwli.org/about/#fish>

フィッシュ・ファミリー財団は、慈善事業を目的に1999年に米国マサチューセッツ州ボストン市でラリー・フィッシュ、厚子・東光・フィッシュ夫妻によって設立されました。主に多文化の理解と交流の促進に注力し、地域の活性化と次世代の人材育成を行ってきました。その他、ボストン近郊の低所得者層や移民問題解決のための活動も支援しているほか、震災復興支援など日本を対象にした様々な活動を行っています。2006年からは、JWLI (Japanese Women's Leadership Initiative、日本女性リーダー育成支援事業)を開始しました。JWLIは、日本女性のリーダーシップ育成・支援を目的とするもので、女性研修生たちは、ボストンに4週間滞在し、ボストンで成功している複数の非営利団体の訪問等を通して、非営利団体の経営や運営の最新事例を学びます。厚子・東光・フィッシュは、2012年に日米間の相互理解の促進への貢献により外務大臣表彰を、2013年には米国ホワイトハウスで“Champions of Change”賞を贈られました。

FISH FAMILY FOUNDATION



「チャンピオン・オブ・チェンジ」日本大賞の提案者

フィッシュ厚子から一言

2013年にはオバマ大統領の発案で始まった“Champions of Change”賞をホワイトハウスから受賞する榮譽に浴したことは、私にとって思いがけない大きな喜びでありました。私は、日本の社会を変えるために地道に活動している女性たちと、この受賞の喜びを分かち合いたいと思っています。
どんな方にお会いできるのか楽しみにしています。

公益財団法人パブリックリソース財団

www.public.or.jp

2000年に非営利のシンクタンク、非営利活動法人パブリックリソースセンターとして発足し、NPOなど非営利事業体のマネジメント強化、SRI(社会的責任投資)にかかる企業の社会性評価やCSRの推進支援、そしてオンライン寄付をはじめとする寄付推進事業などを展開してきました。

2013年1月、これらの成果と蓄積を踏まえ、「誰かの力になりたい」という人びとの志を寄付で実現するために、個人や企業の資金力を社会的事業への投資につなぐ寄付推進の専門組織「公益財団法人パブリックリソース財団」として新たにスタートしました。「意志ある寄付で社会を変える」ことをミッションに、テーマ基金、オリジナル基金、遺贈など様々な寄付の方法をご提供し、人生を豊かにする寄付、未来を切り拓く寄付の仕組みづくりに取り組んでいます。また、NPO向けの研修やコンサルティング、社会的事業体の寄付適格性評価、助成事業の成果評価など、寄付による助成が最大の効果を生むための支援を行っています。

